

問 災害発生など、身近な一次避難所を
(公共の広場を)

答 指定の広域避難場所に対応

北川 清司 議員

問 4町合併、公正な街づくりを目指すなか、いよいよ新庁舎の建設もはじまる。歴史ある城下町として栄えた旧山崎町の市街地、今では多くの空き店舗が目立ち、空洞化ドーナツ現象も見られる。郊外には沿道サービス型のショッピングセンターが進出。

しかし、市街地の魅力は高く成熟した住宅街に変化している、これら歴史的、文化的な資産をどう生かしていくのか。

市長 地域の資源を活用し、大型店にはない特色ある商業地域づくりを、商店街、周辺地域の協力を得るなかで、また起業家支援や消費者が散策、ショッピングが楽しめる環境作



緊急避難場所のひとつである
スポニックパークー宮体育館

り、住みよい住環境づくりを目指す。

問 人口が集中している市街地は住居も密集し、災害などの発生で身近に避難できる場所は殆どない。

市街地中央部に位置する(元営林署・旭町)官舎用地の利用状況を見るに、位置、形体を勘案するなかで、災害時の避難所、公共的な広場など、市街地全体の環境を高め、活力ある施策、つまり街づくり構想を提案し、国有地の払い下げ譲渡を求めていく考えは、
国の政策、方針として利用度の低い国有財産の民間等に譲渡、払い下げるなど処分を進めている。

市長 森林管理署から正式の計画も検討されているやに聞いている、管理署から提言もない現状から、市としては具体的な提案をする状況ではない。

問 嬉しい開庁時間延長

答 やります！住民サービス

大倉 澄子 議員

問 開庁時間の拡大・変則勤務での証明書交付業務は画期的な取り組みと評価する。

変則勤務職員の体制内容は、超過勤務手当等について、各市民局でも実施されるのか。

本庁舎完成後も継続されるのか。将来的には土曜日も実施されることを望むがその考えは。市民にとってはありがたいことでも肝心の担当職員に負担になったり、不満の温床、不当な時間外勤務にならぬよう、お互いが満足のいく健全な市民サービスの向上



10月1日より時間延長され
充実する窓口

に繋げてほしいが、職場環境作りに対する所見を伺う。

市長 基本的には担当課職員が1時間遅く出勤、超過勤務手当は出さない。アンケートや利用状況をみた上でサービス拡大の必要性を協議する。

各市民局長 現在のところ人員的に苦慮している。利用形態や対費用効果、本庁での対応経過をみながら一応考えるべきかとも思える。

総務部長 限られた人員体制で難しいが、コストをかけずにやるのが課題でもある。住民のニーズ、コスト、職員の労働条件についても配慮し施行する。今後とも全体の時間外勤務減についても十分考えていく。

副市長 経費をかけることなく住民サービスの向上に努める。